



幸樹

こう じゅ

第74号

2021年5月1日



ホームページ



職員募集

発行・一般社団法人幸樹会「幸樹」編集委員会

.....幸樹会事業所.....

からたち薬局・介護ショップからたち ☎047-710-2785

あんず訪問看護ステーション ☎047-701-5559

あんず居宅介護支援事業所 ☎047-701-5558

ケアステーションゆず ☎047-701-5506

看護小規模多機能型居宅介護さんしょう ☎047-710-0331

幸樹会本部 ☎047-701-7550

〒270-2254 千葉県松戸市河原塚 411-1 幸樹会館



『パウル(猫)とランプ』

絵・高橋 聖大

生命を繋ぐ まご ひまご 孫・曾孫の成長 が楽しみ！

大谷翔子さん(仮名)は、昭和9年生まれの86才。夫・勝さん、三女の娘さんと一緒に過ごされています。あなず訪問看護ステーションの訪問リハビリを利用されていて、前向きな姿がとても素敵です。

(聞き手・作業療法士 山本伸枝)

甲子園球場で野球観戦を満喫

祥子さんは、神奈川県横浜市鶴見の生まれで、高等学校まで過ごされていました。夫・勝さんとは、26才の時に、友人の紹介でお見合い結婚をされ、3人の娘さんに恵まれました。

現在の松戸の自宅に住むまで、夫の転勤で様々な土地で生活をされました。

「なかでも、40年程前に10年間住んでいた兵庫県西宮市の思い出が強いです。西宮はご存じの甲子園球場がある街で、球場は自宅から近くで、しかも娘たちが阪神タイガースファンになったので、私も野球に少し興味を持ったんですよ。高校野球の時期には、夫は時間があれば1日中高校野球を観戦していました」と。西宮での生活を満喫され、今でも関西の方が落ち着くし、実家のような感じがすると話されます。

いまの生きがい 曾孫の成長と旅行

ご夫婦が関東に住むきっかけとなったのが、5人のお孫さんの誕生でした。特に、唯一の男の子が誕生したことがとても嬉しく、「少しでも孫の近くにいたい」という翔子さんの強い希望で、当時お孫さんが住んでいた本八幡に家を買って引っ越しされました。暇があればお孫さんと遊んでいたそうです。

その後再度転勤を経て、夫の定年退職時に、長女・次女の住まいの中間地点となる松戸に移住されました。孫達とプールをしたり、遊んだり、食事をしたバルコニーを見ながら、ご夫婦は笑顔で思い出を語ります。

そして、2年前に初曾孫が、今月には2人目となる曾孫が誕生しました。毎日枕元に写真を置いて、眺めることが日課になっているそうです。

「今の生き甲斐は曾孫の成長よ。まだ2人目には会っていないから今から会うのを楽しみにしているの」と、お二人で写真を見て微笑まれています。

もうひとつの楽しみが、夫が63歳で定年退職した後



大好きな京都旅行も目標

からはじめた二人旅行です。たくさんアルバムがあり、ひとつひとつ丁寧に記録されています。「北海道～東海までのかんぽの宿、休暇村はほとんど制覇した」そうです。

「何よりも京都が大好きで、2年程前までは年に2～3回は訪れ、京都で訪れたことがない場所はないほど様々な場所を見て歩きました。また、琵琶湖に大家族が集合し旅行出来たことも本当に楽しかった」と、笑顔で語っていました。

「今はコロナ禍で、旅行に行けない事が寂しい、また関西に行ければいいな」と、夫の勝さん。

翔子さんも外出機会が減少し、「昔の様に歩けない。だからまた少しずつリハビリを頑張って、曾孫と遊んだり、大好きな京都に行くことが今の目標」と、前向きに語っています。

お二人が、生き甲斐・目標をもって生活されている姿がとても素敵です。私が、そのお手伝いさせていただいていることを嬉しく思いました。



さんしょうカフェ 4月20日、コロナ禍の閉塞した気分を吹き飛ばそうと、ご利用者のみで「さんしょうカフェ」を開催。お寿司ランチ・リハ体操の簡素なメニューでしたが、久しぶりの交流・団欒を皆さん楽しみました。

2021 年度幸樹会職員全体集会を開催 質の良い在宅ケアめざし、 社会・環境問題の取り組みも

2021 年度が始まり、幸樹会では、4月1日に職員全体集会を行いました。法人・各事業所の 2020 年度活動報告と 2021 年度の活動方針・予算等を確認するとともに、新たな課題にとりくむ意思を固める集会となりました。

2020 年度は、新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れる日々でしたが、不足する消毒薬・マスク・ガウン等を創意と工夫、地域の皆さんのご協力で調達し、11 月からは毎月松戸市の検査助成を活用して職員全体の PCR 検査を実施、毎回全員陰性で、ケア事業を大きな変更もなく提供することができました。一方で、看過できないミス・トラブルが発生し、その再発防止のしくみと考え方を根付かせることを、2021 年度の重要な方針にしました。



幸樹会は、経験も浅い職員たちの寄り合い所帯で事業運営に習熟したベテランもいなかったため、事業開始以来、「法人・事業所の目標管理マネジメント」「目標指向的ケア」「自己目標管理」を事業運営の方法として学び取り組んできました。2021 年度はその「目標管理」の方法を、「住み慣れた自宅・地域で自分らしく最後まで人生を全うすることを支援する」「そのための地域社会づくりに参加し貢献する」という理念に基づく事業・ケア・研修等の実践全般にわたってつらぬき、職員全体が目標管理の方法を身に着けることを取り組みの重点にしました。

4 月の介護報酬改定は+0.7%増で、定昇する人件費増にもはるかに不足する金額です。介護職員の処遇改善や養成はますます困難になっていますが、可能な限り経営努力で事業が継続できるようにしていきたいと思ひます。

また改定では、新型コロナウイルス感染症拡大時、自然災害時の事業継続計画・訓練が事業所に義務づけられました。気候変動・温暖化による環境危機、プラスチック・添加剤等による生態系危機の進行については、世界中の専門科学者が「回復不可能な臨界点まであと 10 年」と警告し、実効ある対策を強く訴えています。新型コロナウイルスも、水害などの自然災害も生態系危機・地球環境危機と直接つながるものです。「事業継続計画」のみならず、気候変動・生態系危機対策に、小さな組織ですが多少なりとも貢献できるとりくみをしよう、ということも今年の方針の特徴です。（中野三代子）

今月の屋上太陽光発電量は、

1,266 KWh

幸樹会館電力使用量 5594KWh 自給率 22.63%



ケアマネ の ところ

あんず 居宅介護支援事業所

居宅介護支援相談員（ケアマネジャー） 荒木由起子

「サービスを拒否されている認知症のご夫婦の件で困っているのですが…」と、担当包括支援センターの職員の方から相談がありました。夫 I さんは数年前より前立腺癌を患っており、癌が骨へ転移し腰や下肢に痛みがあり歩行も不安定。認知症状も出てきて通帳等の大切な書類が紛失することが多くなっていました。妻 C さんは 10 年程前からアルツハイマー型認知症と診断をされていますが、受診が途切れている状況で、妻 C さんの介護を夫 I さんがされていました。

とても仲の良いご夫婦で、夫 I さんが妻 C さんに何でも丁寧に説明をし、外出するときはいつも一緒に外出されていました。ご近所との関わりもなく、何年もご夫婦二人での生活をされていました。そのため、今まで頑張ってきたご夫婦の生活に、色々な介護サービスの提案をしても受け入れることが難しい状況でした。

在宅ケアの専門職をつないで支援

支援者側からすると、早くサービスを利用していただきお二人の生活が楽になるようにしたいと考えますが、長年お二人で築き上げてきた生活を変えることは大変なことです。



時間を掛け受け入れてもらえるように在宅支援センターや包括担当者と協力し遠方のご家族にも相談し、往診の先生にも来てもらえるようになりました。

現在では、デイサービス、訪問看護、訪問介護、訪問薬剤師、福祉用具等サービスが入り、お二人の生活を支えてくれる協力者が増え、現在もご自宅でご夫婦二人の生活を続けておられます。

私は、ケアマネジメント業務は人と人との関わりによって成り立つ仕事であり、ケアマネジャーは利用者さんと専門職をつなぐ橋渡し役だと思っています。ケアマネ一人では解決できない問題も、他の専門職からの目線で問題を捉えることで多方の角度からの視点が増え、問題を解決し高齢者を支える力も強くなります。

自分の力量を冷静に振り返り協力してくれるチームの仲間と連携しながら、担当させていただいた方が、住み慣れた自宅でその方らしく生活できるよう、真摯に日々のケアマネジメント業務に取り組みたいと思っています。

職員募集！ 非営利・働きがいある職場 看護師・介護職員

●無資格の方もご相談を。資格取得支援制度あり
問い合わせ：本部中野まで、☎047-701-7550



デンマーク便り...③⑤

ラスムッセン 京子

新型コロナウイルス (Covid 19) 感染対策を緩和する一環で、一定の条件での集会も許可されそうです。

折しも、5月6日から看護師ストライキが予定されています。医師など他の公務員組合は、1年に5.6%、3年で16.8%の賃金引上げ協定に調印しました。看護師組合は協定調印を拒否し、ストライキを執行する決意です。

デンマークでも看護師不足があり、2025年には5,000～6,000人が不足すると推定されています。不足する背景には、労働量・責任の増大と低賃金があります。歴史的に女性の仕事とされた看護師の賃金の昇給の遅れが、不満を増やす原因となっています。

看護師たちが賃上げストライキへ

その際、医師との給与の格差が問題視されています。医療従事者内部の賃金差を問題視する立場からの解決策は、私たち医師の給与と労働条件に影響を与える可能性があります。ピーター・フンメルガード雇用大臣は、「不平等は協定の範囲内で解決されなければならない」と発言しました。この協定内での“不平等の解消”は、医師の給与の減額を意味する可能性があります。

他方、政治的なパーセンテージで賃金を調整する“賃金平準化”ではなく、



金額(クローネ)で交渉すること、賃上げ財源は財務法の資金を割り当てる賃金改革を通じて行われるべきだとの声も勢いを増しています。

多くの医師が、看護師が専門家として認められるための闘いを支援しています。熟練したやる気のある同僚を持つことが、臨床の日常生活の中でどれほど重要であるかを伝える意味でも支援しています。

政治家が、看護師は女性の職業であったこと、男性よりも収入が少なくてもよいと同意した時代は終わりました。現在では医師の過半数は女性で、看護師には多くの男性が進出してきています。

国は、感染症対策費用をまかなうために減茶苦茶にクローネを刷っています。そのため、物価の急上昇が予想されています。すでに2020年に住宅価格は8.2%値上がりし、住居関連の価格は急上昇気配です。公務員の給与が物価上昇に追いつかないという恐怖が広がっています。公務員の賃金引き上げは、賃金闘争などが起きる事で、これ以上社会経済の停滞が深刻化しないようにという政治的な配慮もあるのだと思います。

新入職員の紹介

介護職員 路 怡靠

私は、路怡靠と申します。今年で22歳になります。中国遼寧省の大連で生まれました。私は静かで穏やかな女の子です。趣味の幅は広く、撮影や映画鑑賞が好きで、スポーツは得意です。私の母の影響で介護の仕事を始めました。さんしょうで働いてもうすぐ1か月がたちますが、介護という仕事がますます好きになりました。介護の勉強を通してたくさんの友達ができることがうれしいです。日本語の読み書きは問題がありませんが、聴解と会話は少し苦手です。今後努力して能力を高めるつもりです。



理学療法士 遠藤 誠

4月に入職いたしました。以前は病院、老健でのリハビリに携わっておりました。

利用者様が少しでも住み慣れた地域で暮らしていけるような支援を心掛け、様々な要望に応えられる療法士を目指していきたいと思っております。



介護福祉士 加藤洋子

長年、保育士として過ごしてきましたが、新たに学びなおすことを決意し、幸樹会に出会うことが出来ました。

利用者様が笑顔の日々を送れますよう。微力ですが精いっぱい、人生を楽しめるようなお手伝いをしていきたいと思っております。



八柱学習会

●4月学習会

参加者 19 名。

▼次回学習会予定
(「定例日：毎月第3金曜日」)

5月21日(金)

18:30～、

あつまれ幸樹

「地域ケアの変遷と未来」

1975～2020の時代体験と実践から語る③

お話・武井幸穂氏

《参加自由》

